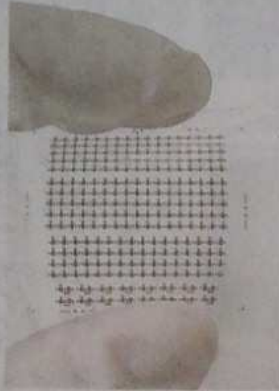


透明導電フィルム 国支援受け共同研究

導電性インキで作ったプラスチック基板。共同研究では銀粒子を原料とするインキの量産を目指す



化学系ベンチャーのコロイダル・インク（総社市赤浜）と産業機械メーカーのコアテック（同）は5日、太陽電池やスマートフォンなどのタッチパネルなどに使われる「透明導電フィルム」の共同研究に着手した。経済産業省の支援を受け、2015年度までのプロジェクト。電気を通す「導電性インキ」を用いた低コスト量産技術の実用化を目指す。

岡山で低コスト量産目指す 初会合



コロイダル・インクとコアテックによる透明導電フィルムの共同研究の初会合

太陽電池やタッチパネルに使われる透明電極は、レアメタル（希少金属）のインジウムを用いたガラス製が主流だが、真空状態で製造するなど大規模な設備投資も必要でコスト低減が困難。レアメタルを使わず、安定調達できる原料から簡素な工程で造れるフィルムタイプの普及が期待されている。

コロイダル・インクは、塗って乾かすだけで電気を通す性質がある導電性インキは、コロイダル・インクが生産している。同社は従来、微細な金の粒子を原料にしていたが、共同研究を通し、より安価な銀粒子を使ったインキを開発。コアテックの技術を基に、銀インキの量産プラントとフィルム印刷機を試作する。

同支援事業は、日本の製造業の競争力を高める研究開発や試作が対象。本年度は全国で653件の応募があり、112件（中国地方8件）が選ばれた。（長田憲司）

経産省の本年度「戦略的基盤技術高度化支援事業」に採択され、1年目は2300万円の委託費で研究する。5日は、両社と事業管理団体の岡山県産業振興財団の関係者ら約20人が出席して岡山市内で初会合。コロイダル・インクが研究方針などを説明し、20年度にインキとフィルムで計90億円の売り上げを目指すプランを示した。

コロイダル・インクとコアテック

介護浴槽を改良 ヘルパー負担減

（岡山市中区海吉）は、医療、福祉機器メーカーのオーシー技研（岡山市中区海吉）は、体の不自由な人が寝たすいようベッド上のマットが左右にスライドする。肩を置く部分が包み込むように曲がって上半身を

の投入で寝たきり介護できる介護浴槽の売り上げを2割増やしたい」としている。（伊東圭一）

めぐりこるWESTが売り出す
アスバラガスの漬物



め加工品に着目した。しょうゆ漬け、みそ

同社は中電工の100%出資で10年設立。島根県浜田市でいちご